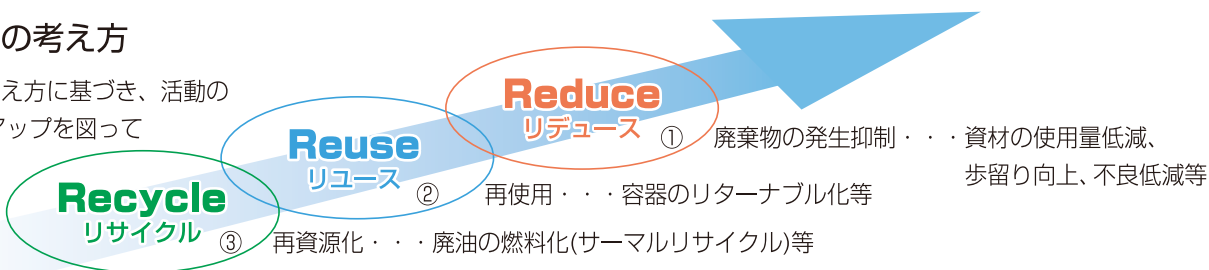


省資源・廃棄物低減

資源の有効利用のため、当社では産業廃棄物低減を推進しています。従来より「ゼロエミッション活動」として埋立廃棄物や焼却廃棄物のリサイクルを進めてまいりましたが、近年では金属スクラップ等を含めたリサイクル廃棄物も低減の対象とした活動に取り組んでいます。

活動の考え方

3Rの考え方に基づき、活動のレベルアップを図っています。

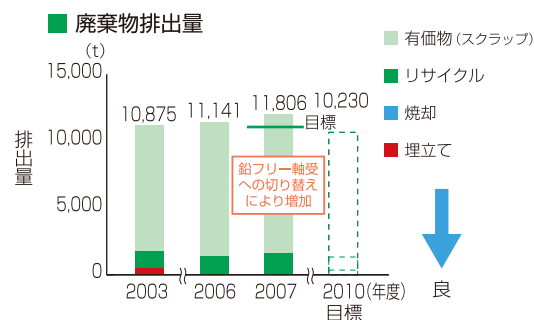


上へ行くほど、より地球環境に優しい対策として位置付けられます

2007年度の活動計画と実績

○ 成果大

目的	取り組み項目	実施内容
1. 廃棄物の発生抑制 (リデュース)	製品・設備のシンプル・スリム	○ブレーキブースタ用バキュームポンプ設計におけるコンパクト化、加工レス化 ○排水処理薬品の変更による汚泥発生量低減 ・TPS活動による生産性向上
2. 再使用 (リユース)	廃液の再生利用	○水溶性切削液再生装置の利用範囲拡大 (本社工場)
3. 再資源化 (リサイクル)	埋立廃棄物のリサイクル化分別の徹底	・研磨カスをブリケット加工しリサイクル化 (春日井工場) ・各工場の廃棄物低減小委員会による啓発活動 (埋立廃棄物、廃プラの分別)



総括

- ・鉛フリー軸受への切り替えに伴い有価物(スクラップ)の排出量が多くなり、総排出量が目標に対し未達となりました。
- ・各工場の廃棄物小委員会によって分別の徹底が行われ、埋立廃棄物と焼却廃棄物のリサイクル化については相応の成果が得られました。

取り組み事例

排水処理汚泥の低減

排水処理の一部ラインで使用する薬品を消石灰から苛性ソーダへ変更し、同ラインの汚泥発生量を30%低減しました。



油分系排水処理装置

分別活動

各工場の廃棄物低減小委員会が中心となり、分別方法について全従業員への啓発活動を推進しました。



本社工場での活動

2008年度の目標と重点実施項目

目的	目標	実施事項
1. 廃棄物の発生抑制 (リデュース)	廃棄物総排出量 10,549t/年	・スクラップ低減活動 ・軸受素材リニューアル活動
2. 再資源化(リサイクル)		・廃酸のリサイクル化

廃棄物の大半を占めるスクラップを低減するため、以下の活動を重点的に進めていきます。

- 技術開発部門——製品・設備設計のシンプル・スリム化
- 生産部門——歩留り向上、不良低減活動